

◇令和8年度 農村工学技術研修の概要(案)
(農研機構 農村工学研究部門)

研修区分	研修コース	目的	内容	予定者数	時期	対象者	備考
基礎技術研修	基礎技術(年2回)	農村工学に関する基礎学力、基礎技術、基礎知識を習得し、農業農村整備事業に携わる若手職員としての資質の向上を図る	数学、水理学、土質力学、構造力学、鉄筋コンクリートの設計、測量等の講義、講義と関連した実験実習、事例研究等	各32名	(第1回) 6月8日～8月5日 (第2回) 9月28日～11月26日	国の職員であって、「一般職(高卒程度)」又は「一般職(大卒程度)」で採用され、農業農村整備の業務に従事している者で入省2～3年目程度の者。入省4年目以降の未受講者も対象	ハイブリッド形式 (第1回) オンライン：6月8日～6月26日 集 合：6月29日～8月5日 (第2回) オンライン：9月28日～10月16日 集 合：10月19日～11月26日
中堅技術研修	中堅技術	農村工学に関する幅広い技術、知識を習得し、農業農村整備事業に携わる中堅職員としての資質の向上を図る	当部門の全領域の研究に関する講義、実習、事例研究等	20名	11月9日～11月20日	国、都道府県、独立行政法人、都道府県農水里ネット等の職員であって、農業農村整備関係の業務に概ね7年従事している者	ハイブリッド形式 オンライン：11月9日～11月13日 集 合：11月16日～11月20日
※専門技術研修の対象者は、国、都道府県、独立行政法人、都道府県農水里ネット等の職員							
専門技術研修	ダム機能保全Ⅰ	ダム機能保全に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	調査・設計・施工等の建設技術に関する講義	20名	6月1日～6月5日	ダムの安全管理や耐震性能照査等の実務に従事している者、従事予定の者、または本専門的知識を補充しようとする者	オンライン形式
	ダム機能保全Ⅱ	ダム機能保全に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	堤体の安全管理、耐震性能照査等に関する講義及びダム機能診断に関する現地実習等	20名	6月29日～7月3日	機能診断と耐震性能照査を中心に技術知識の習得しようとする者で、ダム機能保全Ⅰの修了者、またはダム知識を有している者	集合形式
	用水計画と河川協議	かんがい用水等の取水に必要な用水計画や河川協議に係る専門的知識の習得と事例研究や実践演習により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	用水計画、河川協議、水路システム、河川水利行政等に関する講義、河川協議の実務に関する事例研究及び実践演習等	40名	9月9日～9月18日	用水計画や河川協議に係る実務に従事している者、従事予定の者、または本専門的知識を補充しようとする者	ハイブリッド形式 オンライン：9月9日～9月11日 集 合：9月14日～9月18日
	土地地質	土地地質に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	土地地質調査の基本、各種調査試験方法、関連事業等に関する講義、ボーリング調査実習及び物理探査実習、及び事例課題研究等	20名	6月15日～6月19日	土地地質の調査・設計・施工に係る実務に従事している者、従事予定の者、または本専門的知識を補充しようとする者	集合形式
	水利システム	水利システムに係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	農業水利システムの利用、管理、機能診断、性能設計、水管理制御システム等に関する講義及び水路実験等	20名	10月19日～10月23日	水利システム関係の実務に従事している者、従事予定の者、または本専門的知識を補充しようとする者	集合形式
	農村計画・地域資源	農村計画及び農村の地域資源に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	農村活性化、地域資源の利用、農村環境の保全に関する講義及び地理情報システムの活用実習等	40名	9月16日～9月18日	農村計画あるいは農村環境に係る実務に従事している者、従事予定の者、または本専門的知識を補充しようとする者	オンライン形式
	生態系保全	農村の生態系保全に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力の向上を図る	生態系配慮の技術指針に沿った内容の講義、環境調査手法に係る実習・演習及び発表討論等	-	(開催しない)	農村計画あるいは農村整備に係る実務に従事している者、従事予定の者、または本専門的知識を補充しようとする者	集合形式
	施設安全管理	農業水利施設等の施設安全管理に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力の向上を図る	農業用施設の耐久性照査、コンクリート構造物の保全管理等に関する講義、機能診断調査に関する実習、事例研究等	20名	7月28日～8月7日	施設安全管理に係る実務に従事している者、従事予定の者、または本専門的知識を補充しようとする者	ハイブリッド形式 オンライン：7月28日～7月31日 集 合：8月3日～8月7日
	経済効果Ⅰ・理論	効果算定・分析・評価に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	費用対効果分析、政策評価、効果計測手法、各種経済効果の算定等に関する講義等	200名	8月31日～9月4日	農村振興施策に係る実務に従事している者、または従事予定の者	オンライン形式
	経済効果Ⅱ・実践演習	効果算定・分析・評価に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	費用対効果分析等に関する講義、費用対効果分析のための各種効果算定の演習等	40名	12月7日～12月11日	農村振興施策に係る実務に従事している者、または当実務従事者と同程度の知識を有する者で、いずれも原則として「経済効果Ⅰ・理論」を修了している者	集合形式
	農村防災・減災技術指導者	農村防災全般及びため池の防災・減災技術に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	農村や農地海岸の災害の防止・抑制、被災対応、関連法令・事業制度に関する講義、ため池記号解析及び減災対策に関する演習等	20名	6月1日～6月5日	農村防災施策に係る指導的実務に従事している者、または従事予定の者で、いずれも農業農村整備関係業務に概ね5年以上従事している者	集合形式
	ため池防災・減災技術	ため池の防災・減災技術に係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図る	ため池減災技術としてハザードマップ作成時の浸水域予測方法及び浸水想定区域作成に関する演習等	60名	5月18日～5月22日	ため池の防災・減災対策に係る実務に従事している者、または従事予定の者なお、都道府県職員及び都道府県農水里ネットの職員を主な対象者とする	e-ラーニング形式 (研修の修了には課題提出、講師のクリアが必須。R7年度は9割以上の研修生が研修期間内にクリア。)
BIM/CIM	3次元データ等を活用したBIM/CIMに係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力の向上を図る	農業農村整備事業におけるBIM/CIM活用に関する講義、BIM/CIM対応ソフトウェア演習等	24名	9月9日～9月11日	国の職員であって、BIM/CIMに関して指導的役割を担うべき実務に従事している者、または従事予定の者	ハイブリッド形式 オンライン：9月9日～9月10日 集 合：9月11日	

注1:集合研修の実施場所は、基本的に筑波産学連携支援センターもしくは農村工学研究部門本館で行う。